



平成23年 2月
第9号

伊佐 市議会だより



寒さに負けるな！！

主な内容

- 議会新体制・一部事務組合議会議員 P 2～P 3
- 各常任委員会報告 P 4～P 7
- 条例制定・条例改正・指定管理者が決まりました P 8～P 9
- 平成21年度決算審査報告 P 10～P 11
- 一般質問・総括質疑 P 12～P 17
- 請願・陳情の結果報告・意見書の提出 P 18
- 過疎地域自立促進計画書策定 P 19
- 議会を傍聴して・編集後記 P 20

12月議会で 新体制が決まりました

初心忘るべからず

伊佐市議会議長 山下 親志

昨年12月議会において、不肖私が議長の選任を受け、誠に身に
あまる光栄と思いつつも、その責任の重大さを痛感しております。
昨年4月に宮崎県で口蹄疫が発生し、伊佐市でも夏祭りを始め、
いろいろなイベントが中止や延期を余儀なくされる事態となり、
畜産農家を始め、地域経済に多大な損害を与えました。その余韻
が残る中、平成23年を迎え、3月12日には新幹線の全線開業とい
う鹿児島にとっては新たな一歩を踏み出すことになり、伊佐市に
おいても曾木大橋、公園周辺道路も完成いたします。さらに新幹
線効果と相まって伊佐市の観光への期待は高まっております。ま
た、念願の分水路の完成で、内水面の冠水対策の解消にも大きな
期待を抱いております。

国政は混迷を深め、経済回復の兆しもなく、TPP問題の不安
など課題が山積している中で、伊佐市も若年層の流失から人口構
成の高齢化と、過疎化が速いスピードで進んでいるため、市政の
発展を図るうえで、それが大きな障害になっています。

23年度は、

- (一) 人口減少と少子高齢化対策の充実
 - (二) 地場産業の育成と企業誘致の要請
 - (三) 北薩病院の医療体制の充実と医師の確保
 - (四) 大口高校、伊佐農林高校の維持存続
 - (五) 近隣のさつま町、湧水町、霧島市、始良市との交流
- 等について、議会と執行機関が一体となって、全力を傾注して
参る所存であります。

最後に伊佐市議会では、昨年6月から議員定数調査特別委員会
を設置し、岩元克頼委員長のもとで調査、検討を行っております。
今年も開かれた議会、信頼される議会を目指し、初心忘るべから
ずを念頭に努力致す所存です。市民の皆様のご指導、ご指
摘をよろしくお願ひ申し上げます。皆様方のご多幸とご健康をお祈り
申し上げます。

議会運営委員会



(後列) 中村周二 今吉光一 左近充諭 森山善友
(前列) 前田和文 ◎鶴田公紀 ○緒方重則
(◎は委員長 ○は副委員長)

議会運営委員会とは、定例会・臨時会において会期
の調整や日程、質問者の順序の調整など、議会の運営
を円滑にすることを目的として、議会運営の全般につ
いて協議、意見調整を図るために設けられる常設の委
員会です。

◎ 各常任委員会の委員は、4〜7ページに掲載



議長
山下 親志



副議長
福本 千枝子

一部事務組合議会議員

一部事務組合は、地方公共団体の一つで、市町村がその団体の一部及び他の団体と同じ事務の一部を共同して処理するために設置されたもので、それぞれの一部事務組合には議会が設置されています。

市議会では、その組合議会に議員を派遣しています。

伊佐湧水消防組合

鶴田公紀
市来弘行
古城恵人
岩元克頼
山下親志



大口地方卸売 市場管理組合

久保教仁
丸田和時
左近充諭
鷗木誠
山下親志



始良・伊佐地区 介護保険組合

山下親志



伊佐北始良 環境管理組合

前田和文
畑中香子
柿木原榮一
福本千枝子
山下親志



伊佐北始良 火葬場管理組合

緒方重則
諏訪信一
柿木原榮一
植松尚志郎
山下親志



議会選出各種委員会委員

菱刈公衆浴場 運営委員会

市来弘行
植松尚志郎



民生委員推薦会

福本千枝子
植松尚志郎



都市計画審議会

森山善友
今吉光一
中村周二
久保教仁
前田和文
諏訪信一



宮人一般廃棄物最終処分場 公害対策専門委員会

山下親志
福本千枝子
前田和文
今吉光一
畑中香子



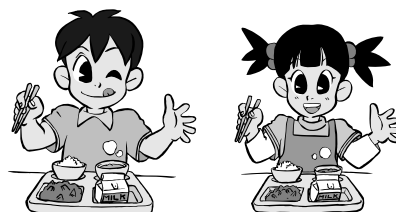
総務文教委員会報告



(後列) 市来弘行 鶴田公紀 古城恵人 岩元克頼
(前列) ○今吉光一 ◎森山善友 井上光一 山下親志
(◎は委員長 ○は副委員長)

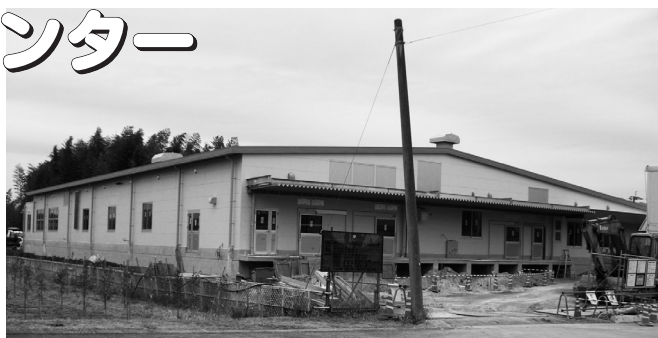
所 管

総務課、企画調整課、財政課、市民課
(市民係、選挙係)、地域総務課、税務
課、収納課、会計課、選挙管理委員会、
監査委員、公平委員会、教育委員会の
所管に関する事項、他の委員会に属さ
ない事項



完成間近、新給食センター

問 新給食センター建設の進捗率は。
答 11月末の建築本体工事65%で、他の工
事も問題なく進んでおり、23年4月6日よ
り、給食を作る予定。



現在使われている受水槽

井戸水を市水道水へ切り替え

●700万円

大口南中学校の井戸水を、市水道水へ切り替えることに
より、学校への送水の不具合はなくなる。

土地の減額譲渡承認

これまで中戸切自治会に自治館施設敷地として
市有地を減額して貸し付けていたが、非常に公共
性が高いとして、適正譲渡価格の80%を減額した
価格88万2,514円で譲渡するもの。



12月 定例会

一般会計

2億3,326万円補正可決 総額159億6,158万円

地デジの難視解消対策

●2,341万円

問 地デジ化による難視聴対策とその世帯数について。

答 対策として、アンテナを立て有線にし、管理組合を作り維持管理する。または個人で立てる等がある。個人負担は7,000円から3万5,000円である。7月までに工事が終わらない時は市でパラボラアンテナの貸し出しを行いたい。

市内全世帯問題のないようにする。難視聴世帯数は28地区230世帯。



© 日本民間放送連盟 2009

財政調整基金積立

●3億4,772万円

問 すべての基金残高について。

答 今回の補正後の残高は44億円と想定している。

問 今後の国の財政をどうとらえているのか

答 総体で国の借金908兆円、国民の借金400兆円、国民の総資産1,400兆円と言われており、残り100兆円が今後国債を発行できる可能性と言われており、このままいけば国は破綻すると思う。伊佐市を守っていくために、今のうちに蓄えるだけ蓄えたい。

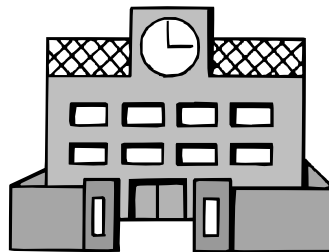


学校の不審者対策

●130万円

問 菱刈地区の5つの小学校の警備費の内容は。

答 警備用の機械を設置することにより、職員が帰る時にセットすれば、職員室、パソコン室、事務室で異常が発生した場合に、警備会社がすぐに対応することができる。



環境福祉委員会報告



(後列) 植松尚志郎 畑中香子 柿木原栄一 緒方重則
 (前列) ○諏訪信一 ◎前田和文 福本千枝子
 (◎は委員長 ○は副委員長)

所 管

市民課（健康保険係）、環境政策課、健康増進課、長寿支援課、福祉事務所の所管に関する事項



田中保育所改修工事 ●140万円

園児のより良き療育環境のために整備

問 改修工事の内容は何か。

答 車イスを使いトイレの使用、園児室からの出入り、手洗い場の使用を自分の力で出来るよう自立に向けた訓練に取り組むための改修工事。



スプリンクラー設置 ●195万円

グループホームの安心・安全な生活確保のために、国の100%の補助事業で実施。

問 設置施設はどこか。

答 大口病院グループホーム「つどい」に設置する。これで必要な事業所のすべてが設置済みとなる。



○ 特別会計

(単位：千円)

会 計	歳 入	歳 出	差引額 (実質収支)
国民健康保険事業	4,743,160	△ 1,881	4,741,279
介護保険事業	3,046,920	△ 2,754	3,044,166
後期高齢者医療	394,228	△ 2,170	392,058
農業集落排水事業	200,237	△ 146	200,091

経済建設委員会報告



(後列) 鵜木誠 左近充諭 沖田義一 (上部) 松元正
(前列) ○久保教仁 ◎中村周二 丸田和時
(◎は委員長 ○は副委員長)

所 管

農政課、林務課、地域振興課、建設課、農業委員会、水道課の所管に関する事項



農家への支援 (口蹄疫対策)

●708万円

口蹄疫対策として、経営再建支援を図るため、価格補償や利子補給等の支援

- 問** 県の平均38万円を下まわった補てん額5万700円は、全部の牛に補てんされるか。
答 7月、9月の市場の平均が32万9,300円で、1頭当たり5万700円をすべての牛に補てんする。
問 自家保留は、生まれてから365日で、364日以下は、価格補てんはないのか。
答 365日以上になっていなければ、自家保留とは認めないという基準がある。
問 口蹄疫の利子補給を受けた人は何人か。またどのくらいの農家規模か。
答 経営に支障をきたした方5人。規模的には大規模農家である。

新幹線利用者対策

●30万円

3月12日、九州新幹線全線
開通に伴い集客を支援

- 問** 30万の補正の内容は何か。
答 レンタカーを借り上げかつ伊佐市内のホテル・旅館等に宿泊する人に対して、そのレンタカー借り上げ料を助成。



特別会計水道事業

- 問** 水道事業収益は減収だが、その原因は。
答 菱刈・大口で650万程度の減である。不況や節水が考えられる。今後は、調査し、収益性を考えた水道料金について検討したい。



条例の制定

子ども交流支援センターの設置及び管理に関する条例

子ども交流支援センターの設置に伴い、名称を「笑（すまいる）」とし、開館時間を午前8時30分から午後5時15分とする。

問 「市長が管理上必要があると認めるときは、臨時に開館または閉館できる」とあるが「必要あるとき」とはどんなときか。

答 土日を使って、療育を保護者に見てもらったり、療育相談に応じることを考えている。



条例の改正

市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例及び特別職の職員の給与に関する条例の改正

○報酬等の状況（単位：円）

区 分		月 額
給 料	市長	714,600
	副市長	565,200
報 酬	議長	368,000
	副議長	283,000
	議員	266,000

国家公務員の給与改定に準じ改正するものです。

○期末手当の状況

（単位：円）

区 分	平成22年12月		平成23年 6 月		平成23年12月		
	改正前	改正後	改正前	改正後	改正前	改正後	
期 末 手 当	市長	1,506,615	1,369,650	1,323,995	1,278,340	1,506,615	1,415,305
	副市長	1,191,630	1,083,300	1,047,190	1,011,080	1,191,630	1,119,410
	議長	698,280	634,800	613,640	592,480	698,280	655,960
	副議長	536,992	488,175	471,902	455,630	536,992	504,447
	議員	504,735	458,850	443,555	428,260	504,735	474,145

平成22年12月定例会傍聴者

（単位：人）

日 程	傍聴者
招集日（議案上程・提案理由説明）	0
2日目 一般質問	11
3日目 一般質問	3
4日目（総括質疑）	1
最終日（付託案件審査委員長報告）	0
合 計	15

お 知 ら せ

平成22年3月定例会からの会議録は、ホームページに掲載しています。

ホームページ

<http://www.city.isa.kagoshima.jp/>

指定管理者が決まりました

平成23年4月1日から平成26年3月31日まで



羽月地区公民館
指定管理者：羽月校区コミュニティ協議会



羽月西青少年センター
指定管理者：羽月西校区コミュニティ協議会



西太良地区コミュニティセンター
指定管理者：曾木校区コミュニティ協議会

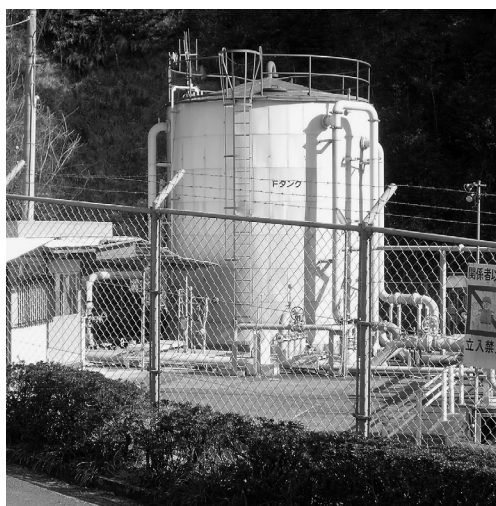
問 各校区のコミュニティ協議会を指定管理者に指定するが、改修や修繕費用の基準は。
答 1万円以下のものは指定管理者で行い、それ以上のものはすべて市が行う。



山野基幹集落センター
指定管理者：山野校区コミュニティ協議会



牛尾青少年センター
指定管理者：牛尾校区コミュニティ協議会



菱刈菱泉センター
指定管理者：菱刈泉熱開発有限会社

大口温泉高熊荘
指定管理者：伊佐交通観光株式会社

問 選定委員会において、伊佐交通観光株式会社が良かった点は何か。
答 「バスを利用し、利用者の増加及び利便性の確保を図る。管理運営経費の節減。高熊荘下のグラウンドを整地し、グラウンドゴルフなど楽しめるようにする。」などの優れた点があった。



平成21年度

一般会計決算審査特別委員会報告

審査日程

決算審査に当たっては、

平成21年度一般会計歳入歳出決算書、主な施策の成果説明書等関係書類に基づき、各課毎に説明を求め、5日間にわたり審査を行った。今回は、提出書類等の説明を充分審査した後に現地における調査を行った。その対象は次の通り。

- ① 通学路安全対策事業
(戸切線道路改良工事)
- ② 定住都市農村交流促進事業
(体験住宅新築工事)
- ③ 菱刈中学校大規模改造事業
- ④ 緑地公園管理事業
(ヘリポート公園整備事業等)
- ⑤ 伊佐農業公社運営費補助事業
(堆肥センター運営事業)
- ⑥ 市有林造林事業委託
(白木地区)
- ⑦ 十曾青少年旅行村管理事業
- ⑧ 定住都市農村交流促進事業
(旧布計小学校改修)



U F O型バンガローの腐食状況を確認

審査を通じての指摘事項

① 十曾青少年旅行村
指定管理者の導入を視野に入れ、早急に対処してほしい。
U F O型バンガローは腐食等が激しいので、撤去の方向で早急に検討してほしい。

特別会計決算状況

(単位：千円)

会計	歳入	歳出	差引額 (実質収支)
国民健康保険事業	4,477,900	4,314,386	163,514
老人保健	37,643	37,079	564
介護保険事業	2,912,746	2,855,046	57,700
介護サービス事業	15,105	13,768	1,337
後期高齢者医療	405,537	402,937	2,600
簡易水道事業	732	658	74
農業集落排水事業	198,604	198,331	273

水道事業会計決算状況

(単位：円)

区分	収入	支出
収益的	403,212,093	325,739,458
資本的	123,835,000	312,706,001

資本的収入額が資本的支出額に不足する額188,871,001円は、減債積立金13,000,000円と、当年度消費税資本的収支調整額6,645,281円と過年度分損益勘定留保資金188,965,163円のうち、169,225,720円で補てんした。

② 有害鳥獣駆除事業
近年、鳥獣被害が農林業者に多大な損害を与え、深刻な問題となっている。しかし十分な捕獲数が達成されていない。関係機関と協議し、効率的に予算執行してほしい。

③ 収入未済金
住宅新築資金等貸付金収入未済額が4億4314万203円、住宅使用料収入未済額が4810万円程度となっている。債務者の状況の把握のため徹底した訪問活動、本人への説得は勿論、保証人や相続人に対する債務弁済の指導をし、他市の収納活動も研究の上、各関係課と連携し、特段の工夫をして、回収の実績をあげてほしい。

④ 各種がん検診事業
受診率の向上が早期発見、早期治療の前提であり、いかにして受診率を向上させるかが大きな課題となっている。目標を明確にしてその実現にむけ努力してほしい。

⑤ 投票所
高齢者及び障がい者など弱者に対する配慮として、スロープや車いす等の整備に努力してほしい。

⑥ 放課後児童健全育成事業
学童クラブの未実施校区は、学童の安心・安全確保の面から教育委員会と連携し、格差解消に努めてほしい。

⑦ 老人クラブ育成事業
老人クラブの組織率向上に努力・工夫をし、名称を高齢者クラブと言い換えるなども検討してほしい。

平成21年4月1日～平成22年3月31日

決算はこうなりました。

◎ 決算状況等

① 平成21年度一般会計決算状況

(単位：千円)

歳入 (A)	歳出 (B)	差引額 (C)	翌年度へ 繰越すべき 財源(D)	実質収支 (C)-(D)=(E)
16,160,107	15,739,384	420,723	89,670	331,053

② 健全化判断比率

(単位：%)

実質赤字 比率	連結実質 赤字比率	実質公債費 比率	将来負担 比率
-	-	15.7	79.2
(13.38)	(18.38)	(25.00)	(350.00)

-は実質赤字なし、()内は早期健全化基準



移住体験住宅4棟で82人が利用(H22.12.24現在)



堆肥センターで堆肥散布機2台を購入

③ 主要な財政指標

(単位：千円、%)

区 分	平成21年度	平成20年度	説 明	
財政力指数 (3カ年平均)	0.38	0.37	財政力 高いほど 財源に余裕	
標準財政規模	9,709,550	9,573,809	一般財源(市税、地方 譲与税、地方交付 税、各種交付金 など)	
基準財政収入額	2,875,865	3,207,921	/	
基準財政需要額	7,895,321	8,296,805		
経常一般財源 収入額	9,018,485	8,942,685		
実質収支比率	3.40	4.90	判断(3%~5% が望ましい)	
経常収支比率	90.80	93.80	標準(70%~80%)	
公債費比率	10.80	11.50	借入返済に使用した 割合(12%~13% 以下が望ましい)	
公債費負担比率	17.00	17.60	比率が高いほど、 財政構造が硬直化	
実質公債費比率	15.70	17.00	18%未満が望まし い	
起債制限比率 (単年度)	7.70	8.30	一般財源に占める 借金の割合	
起債制限比率 (3カ年平均)	9.00	10.40	/	
地方税 徴収率	現年課税分	97.70		97.80
	滞納繰越分	9.30		11.40
	合計	90.20	91.60	
地方債現在高 (特定資金を除く)	14,668,016	15,712,137		
債務負担行為額	2,352,787	2,677,527		

決算審査特別委員会委員

委 員	副 委員長	委 員
岩 畑 古 久 緒 今 沖	諏 訪 員	前 田 長
元 中 城 保 方 吉 田	信 一	和 文
克 香 恵 教 重 光 義		
頼 子 人 仁 則 一 一		



改修工事を終えた旧布計小学校跡

市民生活の向上をめざし

一般質問

10人



問

政府は11月9日、TPPをめぐる関係国と協議に入る基本方針を閣議決定したが、本市に与える影響は。

答

一番の大きな影響は米30億円、牛肉・豚肉31億円、農業生産総額72億円の損失と試算している。

問

TPPの場合、農業をはじめ外国人雇用に介護福祉士等の参入も要求されているが市民生活への影響は。

答

市民生活への影響はわからない。ただ生産に関わる農家の方にとっては、外国から同じ品物が安く入り、自分たちの品物が売れない等、地域経済は冷え込んでいき、市民生活全体が低迷することが予想される。

平成22年度事業の実施状況について

TPP(環太平洋連携協定)参加の影響は

諏訪信一 議員

問

22年度で執行できなかった事業はないのか、あるとすればその原因は何か。

答

執行できなかった事業はない。当初計画の小・中学校校舎の耐震補強工事関係は政権が代わり、補助事業の対象外となり、財源の手当ができず減額補正した。

問

就学支援者・生活保護受給世帯・自殺者数増等の状況の中で、市長は住民生活のどこが良くなり、どこが悪くなったのか、何が課題であると認識しているのか。

答

良くなった点は、先駆的な予防接種ワクチン等への補助や高齢者



それでもあなたは、TPPの参加を認めますか？

朝ごはんすら自分の国でまかなえない、そんな日本になるかもしれません。

資料提供：JA鹿児島県中央会

浮揚対策のまちづくり

鶴田公紀 議員



問 である。

新幹線全線開通、人口問題、少子高齢化対策、農業後継者問題、商店街活性化対策、「平成百景」曾木の滝周辺整備、鳥獣対策、市有地の有効活用等、総合行政運営を行い、足腰の強い施策が必要である。運営次第では地域間格差が広がるおそれがあるため、市長のリーダーシップが市の浮揚対策を左右すると思うが。

答

主要施策は、23年3月に総合振興計画を提案する予定。

答

歳入面では、市税は円高など不安要因があるが、法人税は回復見込みである。個人市民税は厳しい状況で、鉱産税については伸びを期待したい。地方交付税は減額の見込みである。歳出面は子ども手当などが争点となるが、歳入歳出予算総額は150億円程度と予定している。

その他の質問

○ 3月末の退職者数、4月の新規採用予定者数並びに人事異動の規模について

問

平成23年度、市の浮揚対策の主要施策、目玉になる重点事業は何か。市民協働の体制づくり、雇用対策の促進、道路公共交通体系の整備、地域福祉の体制づくりを考えている。安全安心と定住促進を位置づける予定

問

重点施策に伴う当初予算の配分と一般会計の予算総額はいくらか。



完成が待たれる曾木大橋

問

合併後、市長及び職員はあらゆる気配りに努め、旧市町の一体化への努力は評価できる。しかし、本市の状況は人口減少が示すとおり、衰退は避けられない。

答

医療、介護、福祉の分野による整備を進めることで、雇用の確保と定住促進を目指しているが、当初の目論見が見込めるのか。さらに力を入れたいことは何か。

医療、介護、福祉と雇用が連動することを目標にしている。22年12月からはデイサービスが1カ所、23年4月からはグループホームができる雇用も生まれる。定住促進では体験住宅の利用者も出てきている。子育てではワクチンの無料化や保育料が県内でも安い方

伊佐市の将来に向けて

鶴木 誠 議員



から上位にあり、今後もPRしていきたい。市のホームページのアクセスが1万5000件と増えている。年間の移入目標などは作っていない。

問

人口減少対策で企業誘致活動やI・Uターンを促す定住対策は真の方策といえるのか。困世代の定住促進だけでは、本市の未来は考えられない。生産人口を増やさなければ自治会の維持も困難になってくる。人口対策として婚活等の企画は考えられないか。

答

これまで成果は出ていないが、若者が集まる行事は実施してきた。婚活の企画をしても難しいと思う。生産人口を増やすには働く場を増やす以外はないと思う。婚活はプライバシーの問題もある。行政

伊佐市の人口推移

国勢調査結果

	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
総数人口(人)	35,007	33,508	31,499	29,311
男	16,003	15,373	14,421	10月までに公表
女	19,004	18,135	17,078	
世帯数(戸)	13,730	13,724	13,399	12,795

※ 平成23年1月11日現在の中間のとりまとめ。

○ その他の質問
道路の早期整備と空き地利用について

がやっても効果はないのではないかと。結婚しないのは今の社会情勢と無縁ではない。人口減少の対策は婚活だけでなくあらゆる条件を考え実行している。もし校区コミュニティやNPOで実施する婚活イベントが実施されれば行政が参加することは積極的に進めたい。

TPP参加問題に どう取り組むのか

前田和文 議員



伊佐の農業が壊滅するのは明らかだ。

議会と協力しTPP参加を取りやめるよう要請をしていく。政府は、戸別所得補償制度で対応する考えのようだが、これが米価の下落につながったことも検証する必要がある。

通学区の規則は、学校教育の向上に生かされているか

問

現在、小・中学校通学区の弾力的な運用があり、大きな学校へ児童が集中する傾向にある。地域力を生かし、学校教育の資質向上につなげるためにも、適切な運用がなされるべきだと思うが。

答

個人の特事情や家庭的事情をできるだけ詳しく聞き取り、子どもの学業生活や安全安心のためにやむを得ない場合許可している。保護者の思い等を把握し、地域や学校とも相談の上、適正な就学が確保できるように努めたい。

子どもの教育環境
確保の再点検を

問

雇用環境の悪化、生活不安により、生活が困難な状況に陥る家庭が増えている。子どもを取り巻く環境の悪化が懸念され、いじめや不登校問題の点検が必要だと思うが。

答

教育相談員、スクールカウンセラー等を配置し、相談体制の強化を図っている。また各学校の取り組みも、学校訪問や報告等で把握し、いじめを一つでも多く見つけて、早く解決することに特に力点を置き指導している。



答

米・養豚の影響が30億円以上見込まれ、

問

TPP参加に対し、農業者の怒りと悲鳴を肌で感じる。農業を基盤としている当地の経済、農業、雇用、教育、地方自治の崩壊にもつながると思うが。



伊佐市の活性化について

福本千枝子 議員

問

人口増対策の空き家活用事業、お試し体験住宅の効果はどうか。新築資金補助や市有地の減額売却はできないか。また、地元雇用促進の企業立地等促進条例利用の動きはあるのか。

答

空き家活用事業は、21、22年度で10組23人、体験住宅は1組が定住している。新築資金補助、市有地減額売却は、今のところ考えていない。企業立地等促進条例制定後、企業からの問い合わせはあったが決定ではない。地元企業にも働きかけていく。

問

人口増が見込めない中、交流人口を増やすことも必要である。

答

① 曽木の滝のみみじ祭りでは、駐車場不足で多くの観光客に迷惑をかけた。日本フードパッカー前の河川敷

の利用はできないか。

- ② 新曽木大橋、分水路、水力発電所が完成する。九州新幹線全線開通による観光PR戦略はどうするのか。
- ③ 大口高校のラグビー部の活躍は、伊佐市民に元気を与えた。合宿やスポーツイベント交流をまちづくりに活かせないか。
- ④ 本市には日本を代表する漫画家、画家、音楽家等活躍している多くの芸術家がいる。文化芸術のまちづくりに活用できないか。
- ③ ラグビーで奮い立った。カヌーを手本に体育協会、活動団体と連携し、取り組んでいく。
- ④ 伊佐市のふるさと大使に任命した榎木孝明さんを機に一人ひとりをお願いし、承諾を得て、本市のホームページで掲載するなどして文化芸術のまちづくりにしたい。



多くの人が訪れたもみじ祭り

TPP参加で 伊佐農業はようになる

森山善友 議員



問 TPP参加で、伊佐市における農業生産の試算は。

答 関税が撤廃された時の伊佐の農業生産高の内、米は100%減で30億4000万円、牛肉で52%減の4億2000万円、豚が31億円減、その他を入

れて72億円余りの減少と計算をしている。

問 今度の議会中に補正予算を組み、係を置いてTPP関連の問題解決の対策はとれないか。

答 今、鹿児島県が大変危機感を持って、米や他の農畜産物のすべてについて、県ぐるみで取り組んでいるので、県の動きと連動していくことで市が自ら予算を組むことは、今の段階では考えていない。

道路管理について

けて欲しい。また、電話にも臨機応変に対応している。

問 国道のバイパスができる農道が一般道として使用されるが管理主体はどこか。

答 農道台帳に記載されている道路67・4kmは農政課で、それ以外の325・9kmは農政課と協議を行いながら管理している。その他については、土地改良区の管理の基に市との話し合いの中で対応したい。

問 冬場の除雪作業等の体制について

答 市としては除雪作業のグレーダーを委託して各路線に配置している。年末年始についても対策班をつくり、給食センターの車が通る道路や畜産関係の飼料車の通る道路等をパトロールしている。基本的には積雪時はチェーンをつ



積雪に悩まされ続けたこの冬



問 今年度の米価は、戸別所得補償や、米あまりで大幅に下落した。伊佐米は隼人まで持って行って検査し、その米は、他の所との米と混ぜて販売していると聞か、おいしい伊佐米をブランド化し、高価で販売できないか。

答 米は隼人で検査している。これだけ米価が下がってくると、伊佐独自で売る方法を、考えなければならぬということ、今、農協等で検討されているのが、炊飯事業である。米を炊いて、例えば保温パックに入れたり、真空パックに入れて、南九州一帯に売り込んでいく制度が今検討されている。伊佐の米をそういった所で、独自に販売することによって価値がでてくるのではと思う。

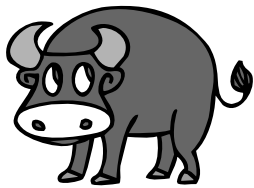
伊佐米のブランド化を

左近充 議員

飼料米の推進を

問 環太平洋連携協定に日本が参加すると、米価はますます下落すると考えられる。国より反当り8万円の補助のある稲の穂・茎・葉を丸ごと刈り取り発酵させるWCS用の稲の推進を行う考えはないか。

答 作付してみたい農家から、数件問い合わせがあるので、希望者に説明を行い、とりあえずは始めてみたいと考えている。



今後は飼料米でのサイレージ化へ

国に左右されない 農政ビジョンを

久保教仁 議員



問 し、米価は大幅に下落政はかつてない不安定さである。県下一の水田地帯として、稲作で独自の施策を講じるべきだと考えるが、具体的に検討すべきではないか。

答 国に左右されない農政ビジョンというのは無理である。しっかりとした指針が示されない限り左右され続けることになる。現状の施策を活用すべきは活用し、農家に手取りが多く残るように努力していく。

問 22年度は焼酎用の米粉米として、20ヘクタール「夢はやと」を作付けしている。これと同じように米粉の作付けを拡大し、製粉工場・米粉を使ったパンなどの加工販売施設をつくり、水田農業の所得向上と雇用拡大に繋がるような施策が必要ではないか。

答 ハイネス株式会社 菱刈営業所が、伊佐米を米粉にして商品開発事業に取り組んでいる。市内の企業が取り組む意欲があれば、補助事業の窓口になり実施する手段もある。JAあるいはハイネスに働きかけている。

問 価格的に遜色のない薩摩中央家畜市場との統合で、生産者への説明・対応は十分されたのか。統合による利点と不利益を検証されたか。また、生産者の負担増・収入減にならないか。高齢者の切り捨てに繋がらないのか。

答 統合の利点としては、ブランド名が高まることと、優秀な種牛の精液が、より手に入るようになる。価格面・牛の品質はさらに良くなる。競り市は、毎月2日間開催で、適期に競りに出せる。問題は、畜産農家が高齢化で運ぶことが困難になることである。高齢者の牛の搬送困難にどう対応するのか。

答 高齢者対策として、23年度ヘルパー制度の事業を導入する。

家畜市場の統合について

伊佐家畜市場全国8位 (1月の子牛平均取引価格)

(単位:千円)

家畜市場名	平均取引価格
1 岐阜県飛騨	51.1
2 兵庫県但馬	47.5
3 宮崎県宮崎中央	46.7
4 宮崎県児湯	45.2
5 兵庫県淡路	45.1
6 宮崎県小林地域	45.0
7 岩手県南	44.9
8 鹿児島県伊佐	44.7
9 青森県	44.6
10 宮崎県延岡	44.4



問 23年度の予算の中で、市民が特に元気になる新企画はないか。

答 前期5年間の中で、市民協働の体制作り、雇用対策の促進、道路公共交通の整備、地域福祉の体制作り、この中で、一つひとつ元気になるものをつくる。

問 「伊佐市ここにあり」といったような、新しい企画はないのか。

答 「NPO法人伊佐のまちプロジェクト」等を、職員で作るか、あるいはプロの人を3年ぐらい雇って勉強させ、いろんな補助金(国、県、外郭団体、企業)を利用し、伊佐市を、元気にする仕組みは作れないか。

今は、地方分権の時代だ。市役所は、「株式会社伊佐市役所」だと思う。伊佐ならではの発想で、攻めの企画は考えられないか。

市民が

元気になる新企画は

中村周一 議員

答

そのような企画はまだ具体的にはでていない。いろんなアイデアを出していただき必要に応じて、人材の投入もあるが、主に、予算を、国、県、あるいは市独自の財源から見つけ出すことだと思う。

私たちは、市民あるいは諸団体との共助によって、行っていくものと思っています。

方向性としては、指摘されたようなことも考えているので、情報の提供等お願いしたい。



「永の祭典」アイスカーピング



ひしかりドラゴンカップ

市道城下線の整備はできないか

柿木原 榮一 議員



問 大口里地区市道城下線（大口郵便局から大口総合支所通り）の整備をどう思うか。
答 現状は狭いと思うが、今、道路整備は計画していない。

問 幼稚園・小中高への通学路であり、危険と思うがどう感じているのか。
答 通学路として危険であれば、ほかの道路を通学路に指定するとか、互いに話し合いながら安全性を高め、補修したい。

問 通学路改良事業等、伊佐市過疎地域自立促進計画の見直しはできないのか。
答 通学路改良事業等は研究したい。過疎地域自立促進計画は見直しできる。

介護保険制度 5期目へのゆくえは
問 平成24年から介護保険制度も5期目となる。10年経つが、どう感じているのか。
答 社会の中で必要な制度であると思う。

問 保険料の全国平均が5000円を超える時、伊佐市の介護保険料はいくらになるのか。
答 まだ正確に試算していない。

問 11月25日に諮問委員会が素案が出て、意見書は11月30日に出ているが、厚労省に派遣している職員からの介護保険制度の見直しの情報はきていないのか。
答 派遣職員からの情報は、少子化の対策、障がい者の対策の部門に在席しているので介護保険の情報はない。

問 グループホームの介護施設が1ユニット増設された場合の、市民1人当たりの保険料の負担と待機者は何人か。
答 保険料1人当たり39・7円アップで、待機者は特別養護老人ホームで5人、グループホームで31人。

問 介護保険も厳しくなるが、素案・意見書がでた時点で全国市長会でも市長も声を上げてほしい。
答 既に市長会等で3人の委員が集約し意見を出している。

問 介護保険も厳しくなるが、素案・意見書がでた時点で全国市長会でも市長も声を上げてほしい。
答 既に市長会等で3人の委員が集約し意見を出している。

問 介護保険も厳しくなるが、素案・意見書がでた時点で全国市長会でも市長も声を上げてほしい。
答 既に市長会等で3人の委員が集約し意見を出している。

問 介護保険も厳しくなるが、素案・意見書がでた時点で全国市長会でも市長も声を上げてほしい。
答 既に市長会等で3人の委員が集約し意見を出している。

総括質疑

質問者	質疑の要旨
岩元克頼	一般会計補正予算について ○ 基金費3億4,772万円について ○ 太陽光発電システム設置事業76万円について 過疎地域自立促進計画の策定について ○ 基本的な事項 ○ 産業の振興 ○ 交通体系の整備など ○ 生活環境の整備 ○ 高齢者の保健及び福祉の向上及び増進 ○ 教育の振興 ○ 集落の整備 大口温泉高熊荘の指定管理者の指定について 土地の減額譲渡について
畑中香子	一般会計補正予算について ○ 地上デジタル放送の難視聴解消対策について 教育費の備品購入費の減額について 教育費の大口南中学校の水道整備の件について

請 願 ・ 陳 情 の 結 果

皆さまからの請願と陳情は次のような結果となりました。

	件 名	提 出 者	紹介議員	付託先	結果
請 願	伊佐市立德辺保育所存続に関する 請願書	徳辺保育所保護者 会長 山本 辰矢 ほか1名	畑中 香子	環境福祉	採 択
陳 情	川内原発3号機増設の反対を求め る意見書の採択について	始良伊佐ブロック平和運動セン ター伊佐地区協議会 議 長 川越 貢		環境福祉	不採択
	川内原発3号機増設に係る環境影 響評価の県民合意を図るとともに、 増設反対を求める意見書の採択に ついて	川越 貢		環境福祉	不採択
	一般廃棄物処理業及び浄化槽清掃 業許可に関わる陳情書	開成環境株式会社 代表取締役 池本 隆昭 ほか7名		環境福祉	継続審査

意 見 書 の 提 出

環太平洋連携協定（TPP）参加に反対する

政府は、11月9日に「国を開き、未来を拓くための固い決意を固め、これまでの姿勢から大きく踏み込み、世界の潮流から見て遜色のない高いレベルの経済連携を進める」、また「環太平洋連携協定（TPP）については、その情報収集を進めながら対応していく必要があり、国内の環境整備を早急に進めるとともに、関係国との協議を開始する」との「包括的経済連携に関する基本方針」を閣議決定した

閣議決定を受け、11月13、14日に行われたアジア太平洋経済協力会議（APEC）で議長を務める菅首相は、TPPに関し「日本は今再び大きく国を開く決断をした」と述べ、政府方針に沿って関係国と協議を始める考えを表明した。

TPPは、工業品や農産物だけに留まらず、知的財産や労働力の移動も含めた関税撤廃の例外を認めない完全な貿易自由化を目指しており、農業はもちろん、金融・医療・介護など幅広い分野に与える影響は計り知れないものがある。

とりわけ農業分野においては、関税撤廃となれば安い外国産との競争が激化し、国内農業は壊滅的な打撃を受けることは明白であり、加えて農業従事者の高齢化、後継者不足、低収益性などを踏まえれば、これまで農業が果たしてきた安心・安全な食料供給や国土保全という役割を今後も担っていくことは不可能である。

全国有数の食料供給県である鹿児島県の中でも、伊佐市は農業を基幹産業としており、TPPへの参加は地域の存在すら脅かすものであるため、食料安全保障や国内農業の持続的な存続が確保される環境が整わない限り、環太平洋連携協定（TPP）への参加については、断固反対するものである。



提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣ほか関係機関

過疎地域自立促進計画書が策定されました

平成12年4月に施行された過疎地域自立促進特別措置法が平成22年から5年間延長されることを踏まえ「過疎地域自立促進計画」を策定。議会は、この計画が市民の暮らし全般にわたる事業でもあることから3つの常任委員会による連合審査を行い、可決すべきものと決しました。

主な目標やねらいは・・・

- ① 産業振興、雇用拡大、交通・通信施設の整備や地域間交流を促進し住民生活の安定と福祉の向上を図る。
- ② 地域文化の振興等により、個性豊かな地方を保ち地域社会を育成すること。

連合審査の中で

どうする高校再編

問 高校の存続が危惧されているが。

答 県教委の指針として、廃止基準が示された。3つの高校を守っていくため予算措置し、関係市町長や議会と一っしょになって、県教委へ働きかけを行っていききたい。



○ 事業予算

年 度	金 額
平成22年	8億4,000万円
平成23年	2億7,000万円
平成24年	2億7,000万円
平成25年	4億円
平成26年	3億円
平成27年	2億7,000万円

この外、毎年ソフト面で1億600万円の借入金（過疎債）が充てられる計画

伊佐のブランドについて

問 JAは薩摩川内市、さつま町、伊佐市と3つの行政にわたるが、伊佐のブランドはどうか。

答 3市町の首長と農協、課長、係長それぞれの分野で連絡会を行っており、各市町の管轄で重要点は重点的に取り組んでいくという申し合わせをしている。



消防団の再編について

問 消防団の編成は、どのように考えているのか。

答 平成24年4月1日に伊佐市消防団という位置付けで実施したい。一番の問題は団員の報酬をどうするのか、また分団の数や人数等についても課題であり、話し合っていきたい。



各種イベントの支援について

答 市主催のイベントは、ふるさとまつり、もみじ祭り、桜まつりで、他の実行委員会に補助を行っており、また集落の行事等には、職員は積極的に参加するよう呼びかけている。



ふるさとまつり

議会を

傍聴して



南 敏子

議会定例会には、開催の前に仲間と声を掛け合って、何度か傍聴させていただいております。

ここ2、3年議論されている伊佐市の観光や曾木の滝周辺の駐車場の件で、昨年の「もみじ祭り」の日、昼食を済ませ天気がいいので主人と出掛けましたが、下殿工業団地の駐車場に車を入れて「びっくり」、シャトルバス乗り場に行き「びっくり」、1時間30分待ちでした。私たちは、またいつでも来られると思ひ引き返しましたが、せっかくのイベントへ遠くから、それも楽しみに来られた方は気の毒に、帰るに帰れなかったのではないのでしょうか。私が、傍聴した時の市長さんの対応は考えて下さるようなご返

答、今年は改善されるのではないのでしょうかと期待しております。活性化にも色々あると思いますが、せっかくのイベントにたくさんの方が伊佐市に足を運んでくださる事も活性化へつながる様な気がします。

市民の声を聞いて、市政へ届けて下さる市議の皆様は、多くの市民が幸になる為に、今まで以上に市民の声を聞く努力が求められているのではないのでしょうか。
がんばって下さい。



3月定例会のお知らせ

日程は下記の通りですので、是非、委員会の傍聴にもお越し下さい。

- ★定例会は午前10時開会
(ただし、委員会は午前9時)
- 2月28日(月) 招集日
(議案上程・提案理由説明)
- 3月7日(月) 2日目(総括質疑)
- 3月8日(火) 総務文教委員会
- 3月9日(水) 総務文教委員会
- 3月10日(木) 経済建設委員会
- 3月11日(金) 環境福祉委員会
- 3月14日(月) 総合振興計画審査特別委員会
- 3月16日(水) 3日目『一般質問』
- 3月17日(木) 4日目『一般質問』
- 3月22日(火) 5日目『一般質問』
- 3月25日(金) 最終日
(付託案件審査委員長報告)

編集後記

今回、表紙を飾る写真は山野保育園の元気な園児たちです。例年にも増して厳しい寒さが骨身にこたえる昨今、毎日半パン姿で早朝マラソン。体を鍛える園児たちの話題に関心をそそれ訪ねました。この日は、三歳児以上の15人のかわいい園児たちが、元気に園内狭しと走り回り、小さな細い体で寒さにも負けず体を動かさせ、つぶらな瞳を輝かせている姿に感動しました。元気に準備体操をすませるや先生に引率され、山野小学校の周り約700mのコースを白い息を吐きながら一所懸命頑張って走りました。

教育現場では何かと世間を騒がす事件やニュースが多い昨今、親御さんから「極寒時に、半パンでの早朝マラソンと批判はありませんか」と率直な質問をしてみました。「山野保育園は、椎木園長先生の方針で創立時から35年の間、よほどの場合をのぞき続けています。保護者には入園時に園の方針を説明。それでも山野以外の市内各地からも方針を納得の上入園されている。保護者からは、子どもが風邪もひきにくい体になり丈夫になったと評価もいただいている。」とのことでした。この教育方針、この園児たちに私たち大人も大切なことを教えられました。すなわち、長引く不況で不透明な経済、途方もない国と地方の借金と財政難など、わが伊佐市も大きな波にさらされていますが、「厳しい内外の波に負けることなく、毅然として市民の負託に応えられる議会となって」とエールを送られた思いです。山野保育園の皆さん、寒中に大きなパワーをいただきありがとうございます。古城 恵人



私たちが作っています

編集・発行責任者

議長 山下 親志

議会広報等特別委員会

委員長 古城 恵人

副委員長 畑中 香子

委員 鶴木 誠

委員 市来 弘行

委員 丸田 和時

委員 緒方 重則